

平田の人口

世帯数	3,267
男	5,320
女	5,453
計	10,773

(昭和59年2月29日現在)



発行所
平田自治会連合会
郷土機関紙編集部
(岩国市平田出張所内)
岩国市平田3丁目22-18
印刷所
藤美術印刷
岩国市今津町2丁目7-39

山本芳太郎さん 1世紀を生き抜く

(平田6丁目6-7・大久保自治会)

二月五日十時平田地区連合会入浴・電気
会々長岩田幹雄氏、平田出張治療をして好きな囲碁、将棋
所長岡栄氏のお供をして、時を眺戦しながら、お年寄り
恰かも当日が一世紀を生き抜く世間話をするのが唯一の業
かれ、目出度く百歳の誕生日、しみだそうで、午後四時には
を迎えられた。山本芳太郎翁、おやつ、お茶、カステ
を、平田六丁目六の七の自ラを食べ、夜は新聞広告のチ
宅にお訪ねして、上寿祝を贈ラシで纏った日記帳を自分で
呈し、偶々来訪中の新聞記者
氏と四人で、翁の生い立ち、
日に一回は散髪に行くとい

日常生活の様子をお伺いし
ました。
翁は明治十七年二月五日生
れて、同三十四年、十七歳で青
松の大志を抱き、ハワイに渡
り、二十五年間、苦勞され、
昭和初期、四十二歳の時、晴
れて故郷に歸を願われ、以來
長年農業に従事された由で、
その間の経過を実に鮮明に覚
えておられその確な記憶力
には驚嘆させられました。
日常の生活振りは、六時半
に起床、七時に朝食、味噌汁に
は必ず「さつまず」を入れて
通じを良くするように心がけて
おられるそうで、お嬢さんの
心遣いの程が何々、感心いた
しました。八時半には弁当持
参で、老人福祉センターへ一



今もお元気な山本芳太郎翁

上寿(百歳)を
迎えられた
翁をお訪ねして
編集委員
村重 富士雄



普賢菩薩は釈迦如来の脇仏

普賢菩薩は釈迦如来の脇仏
として、理徳定行徳を司ど
る三昧に住せられたので、
命の仏でありました。また増
命の三昧に住せられたので、
普賢菩薩とも云われ、我
々の生老病死を伏して、増
延命の徳を受けて下さる菩薩
であります。
普賢菩薩を信仰する者は、
一家の繁栄増福、商売繁昌、
勉学成就、健康増進、長寿を
授けて下さるのです。また日
巳歳生れの守本尊で、縁日は
十四日、御真言は「おんさん
まやさとばん」
平田の普賢菩薩は、明徳元
年正月(西暦一六七〇年)此
の地の領主中尊藏人の守の末
裔、大田三右衛門が福池(現
在もある)を掘設中、池中より
り金仏が出てきました。これ
が普賢菩薩と判明し、近くの
小岩の上に小堂を設け、丁重
に祀つたのが始りです。その
後、三右衛門居士が三代佐五
木河村治兵衛と続いて護持し
て参りましたが、俗人が所持
するは勿体ないが、一旦岩か
しは、現存の地に二メートル
に五メートルの御堂を建立し
(普賢堂総代 志谷忠雄記)

普賢堂の由来

明治十四年に御本尊の御開帳
として、理徳定行徳を司ど
る三昧に住せられたので、
命の仏でありました。また増
命の三昧に住せられたので、
普賢菩薩とも云われ、我
々の生老病死を伏して、増
延命の徳を受けて下さる菩薩
であります。
普賢菩薩を信仰する者は、
一家の繁栄増福、商売繁昌、
勉学成就、健康増進、長寿を
授けて下さるのです。また日
巳歳生れの守本尊で、縁日は
十四日、御真言は「おんさん
まやさとばん」
平田の普賢菩薩は、明徳元
年正月(西暦一六七〇年)此
の地の領主中尊藏人の守の末
裔、大田三右衛門が福池(現
在もある)を掘設中、池中より
り金仏が出てきました。これ
が普賢菩薩と判明し、近くの
小岩の上に小堂を設け、丁重
に祀つたのが始りです。その
後、三右衛門居士が三代佐五
木河村治兵衛と続いて護持し
て参りましたが、俗人が所持
するは勿体ないが、一旦岩か
しは、現存の地に二メートル
に五メートルの御堂を建立し
(普賢堂総代 志谷忠雄記)

「火伏祭」執行

平田自治会連合会では、毎
年の主要な行事の一つとして
「火伏祭」を執行しています。
今年も去る二月二十一日、今
津白崎八幡宮において、岩田
会長ほか自治会長数名の参列
のもとに、厳かにとり行なわ
れました。
火伏祭とは、平田地区から
「火災を起さないよう、決
意を新たに、吾が家を火災
から守るための願いをこめた
お祭です。
既に各御家庭には、その時
の「お札」が配布されている
と思いますが、これを台所の
柱に貼って、日夜火災の
防止に心掛けて頂きたいと存
じます。特に最近は何らかの
新炭が殆んどその姿を消し、
電気、ガス、油と多様化し、
取扱いも複雑になってしま
した。その取扱いは万全に、後
始末を確実にして、吾が家か
らは絶対に火災を起さないよ
う、細心の注意を致しまし
よう。

明治十七年、平田村長の寄付に
国町長久寺に預けて居ました。
普賢の御堂一つ我が岩国の中
に輝けり。(高徳院住職、吉
阿先生歌)

ふるさとの史跡を胸に

今年めでたく小学校を卒業
される皆さんの中には、古い
平田を知らない人が多いので
はないかと思ひます。
そこでこの記念すべき好時期
に伝統ある古里平田の歴史を
足で知ってもらおうと、
若い世代と老人の触れ合いの
中で交歓の場をもつため、平
子連の企画で、三月四日、卒
業生とその父兄、及び平田長
寿有志で平田の史跡、神社
めぐりハイキングが実行され
ました。
寒い一日ではありましたが
古老の説明に興味深く耳を傾
け、飯道では老人の尻を押
しながら和気あいあいのうちに
五龍の松で、日の丸弁当の昼
食を終え、午後は餅つき、お
母さん方の心づくしの「ぜん
ざい」に一同舌鼓をうち、更
に触れ合いの輪を広げる意味
で、平田グレートボール同好会
役員十五人の指導により、グ
レートボールに興じ、時間のた
つのを忘れ、楽しく交歓の一
ときを過ぎました。
と、かく、若年層と老人との
心の触れ合いの少ない核家族時
代の世相の中で、ほのほのと
した心と心の結びつきができ
たことは、お互いに貴重な体
験であったことと思ひます。
これからも毎年こうしたい行
事と続けたい。この得がたいコ
ミュニケーションを継承して、
お互いに声をかけ合いながら、
老若一体となって、明るい平
田の町づくりに努めてゆきたい
ものです。
平田第三長寿会会長
平田グレートボール同好会会長
村重 富士雄記

あだち本店
岩国市錦見8丁目29-10
(安達産業2ビルF) スーパー丸久上
電話 (0827) 43-0444(代)
(折詰弁当・会席(オードブル))
(行楽弁当・給食弁当)
●ご注文・お問合せは………
☎ (0827) 43-0444(代)

電気配線工事
電気通信工事
消防施設工事
設計施工

さんわでんき
有限会社 山和電気工事
代表取締役 山本 常 幸
岩国市大字関戸764番地1
☎ (0827) 43-1188(代)

売出し期間中です
半額
(一部三割引)
AM9時~PM6時迄

有田屋陶器店
岩国市元町3丁目11-5
☎ 21-3278

